合併市町村のための
路線価等データ結合プログラム

操作マニュアル

＜＜ 目　　次 ＞＞

機能の概要 3

「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」では・・・ 3

インストール手順 4

プログラムの操作 5

1．プログラムの起動と操作手順 5

1－1．プログラムの起動 5

1－2．プログラムの操作手順 6

1－3．属性番号の重複チェック 8

2．合併市町村コードと名前の変更 9

3．新･旧属性データの比較と旧属性データの削除 11

3－1．比較リストのデータ出力 11

3－2．旧属性データの削除 12

4．「路線価等業務管理システム（Ver.4.00）」での旧属性表示 13

機能の概要

「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」では・・・

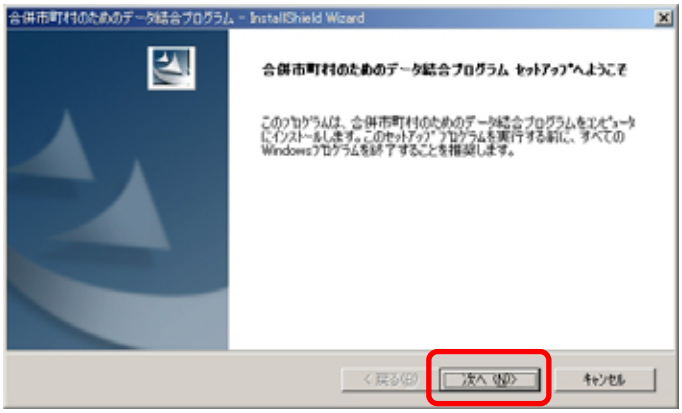
■ 「路線価等業務管理システム（Ver.4.00）」および「路線価等情報公開システム（Ver.4.00）」で使用する路線価等データを、市町村合併の状況に合わせて結合することができます。

■ データ結合を行う前と後の固定資産税路線価等データの属性情報を比較したリストを出力することができます。

■ 「路線価等業務管理システム（Ver.4.00)」の属性表示画面で、データ結合を行った市町村の固定資産税路線価等データの結合前の属性情報を現在の属性情報に追加して表示することができます。

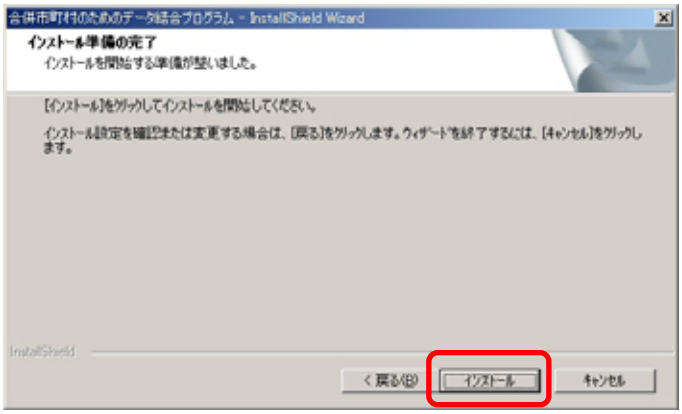
インストール手順

「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」のインストールは、「路線価等業務管理システム（Ver.4.00)」がインストール済みであることが必要です。

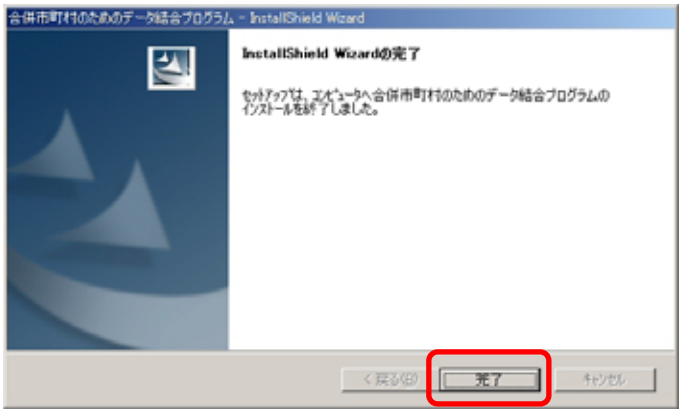


1. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」CD を CD-ROM ドライブに挿入してください。自動的に、「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウが開きますので、[次へ]ボタンをクリックしてインストールの準備を完了させてください。

※ ウィンドウが自動で開かない場合は CD-ROM ドライブの「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



2. インストールの準備が完了しました。インストールを実行する場合は、[インストール]ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。
キャンセルする場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

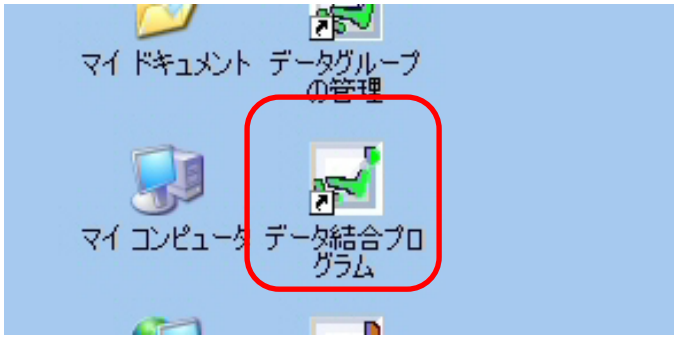


3. インストール完了後に、完了画面が表示されますので[完了]ボタンをクリックしてください。
「データ結合プログラム」アイコンが、デスクトップ上に表示されます。

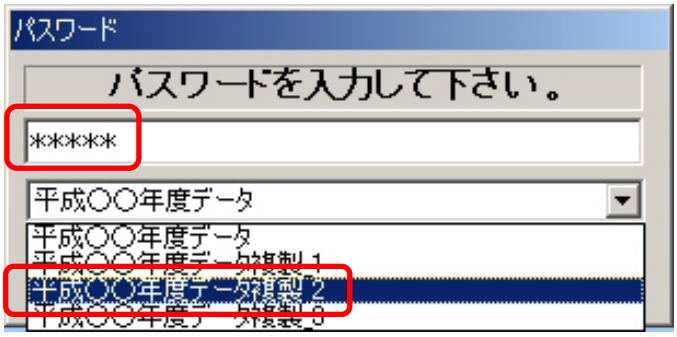
プログラムの操作

1．プログラムの起動と操作手順

1－1．プログラムの起動



1. デスクトップ上の「データ結合プログラム」アイコンをダブルクリックしてプログラムを起動します。



2. パスワードを求めるウィンドウが開きますので、パスワードを入力してください。初期パスワードは半角英数字の「kotei」です。

3. 起動する「データグループ」名をリストから選択して[OK]ボタンをクリックしてください。

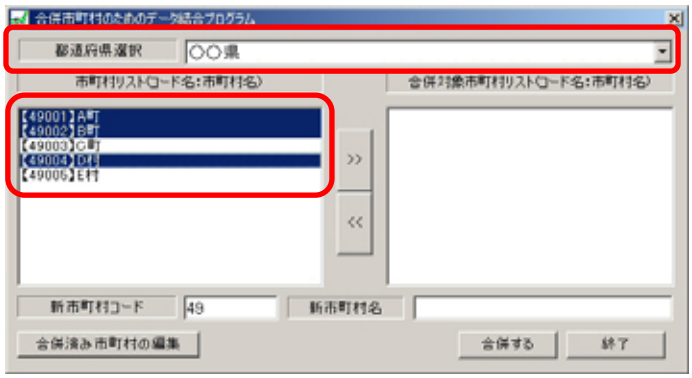
※ 「データグループ」については「路線価等業務管理システム Ver.3.0」取扱説明書 P１「【１】路線価等業務管理システムの概要」を参照してください。

4. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」のウィンドウが開きます。

※ 入力したパスワードは保安上、文字の代わりに「＊」で表示されます。入力を間違えた場合は「入力されたパスワードが不正です」とウィンドウ表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてから、正しいパスワードを入力し直してください。

1－2．プログラムの操作手順

○○県「A 町・B 町・D 村」が F 市へ編入となった場合を例に説明します。



1. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウの「都道府県選択」リストから対象となる都道府県名（○○県）を選択し、「市町村リスト（コード名：市町村名）」欄からデータ結合する対象の市町村を選択して反転表示させてください。
   選択を解除する場合は、反転させた状態で再度クリックします。

※ 「市町村リスト（コード名：市町村名）」には、データをインストールした都道府県市町村名のみが表示されます。

2. >>ボタンをクリックします。選択した市町村名が「市町村リスト（コード名：市町村名）」欄から「合併対象市町村リスト（コード名：市町村名）」欄へ移動します。

   <<ボタンは、「市町村リスト（コード名：市町村名）」へ戻す場合に、戻したい市町村名を選択して反転表示させた状態でクリックします。

3. 「新市町村コード」を入力します。新市町村コードは５桁の数字を入力します。

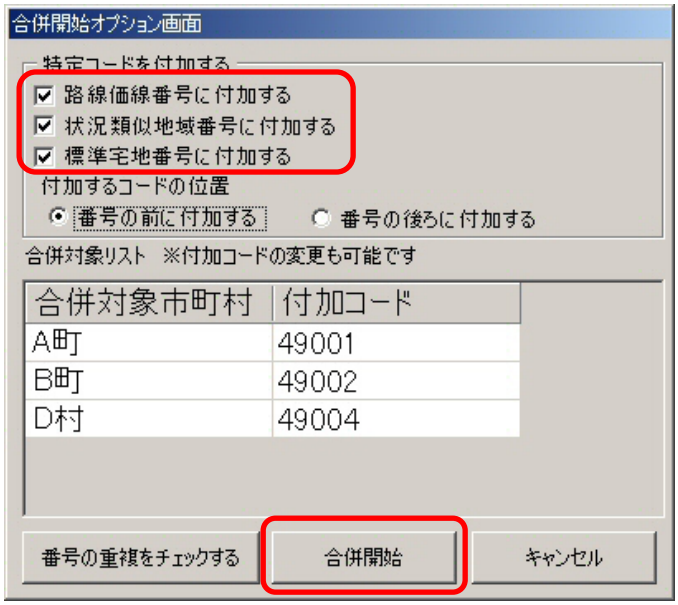
※ 入力できる数字は以下のとおりです。

・市区町村コードとして使用されていないもの
・「合併対象市町村リスト」にある市町村コード

4. 「新市町村名」を入力します。

5. [合併する]ボタンをクリックします。

※ 「新市町村コード」として設定したコードをデータ結合の処理で使用しようとしても、「既に新市町村コードの市町村が存在します」というウィンドウが表示され使用できませんので、[OK]ボタンをクリックして、別のコードを設定してください。

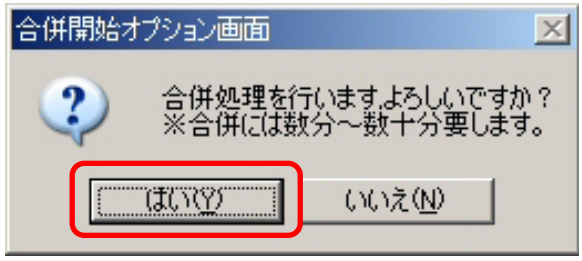


6. 「合併開始オプション画面」が開き、「合併対象リスト」に対象市町村名が表示されます。「特定コードを付加する」欄で「路線価線番号に付加する」「状況類似地域番号に付加する」「標準宅地番号に付加する」のチェックボックスにチェックがついていることを確認します。
チェックがついていると、合併市町村の路線価線などに合併前の市町村属性番号が自動的に付加され、合併後の路線価等データの番号重複を避けることができます。

7. 「付加する特定コードの位置」で、「番号の前に付加する」か「番号の後ろに付加する」かのどちらかを選択し、[合併開始]ボタンをクリックします。

8. 合併の確認ウィンドウが表示されますので[はい(Y)]ボタンをクリックして合併を開始します。

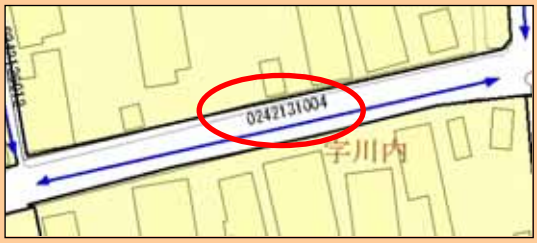
9. 合併処理終了のメッセージが出たら[OK]ボタンをクリックします。



10. 「合併開始オプション画面」が閉じて、「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウの「合併対象市町村リスト（コード名：市町村名）」にあった A 町・B 町・D 村がなくなり、「市町村リスト（コード名：市町村名）」に「F 市」が表示されます。

※ 「業務管理システム（Ver.4.00）」では下図のように合併後の変化を見ることができます。

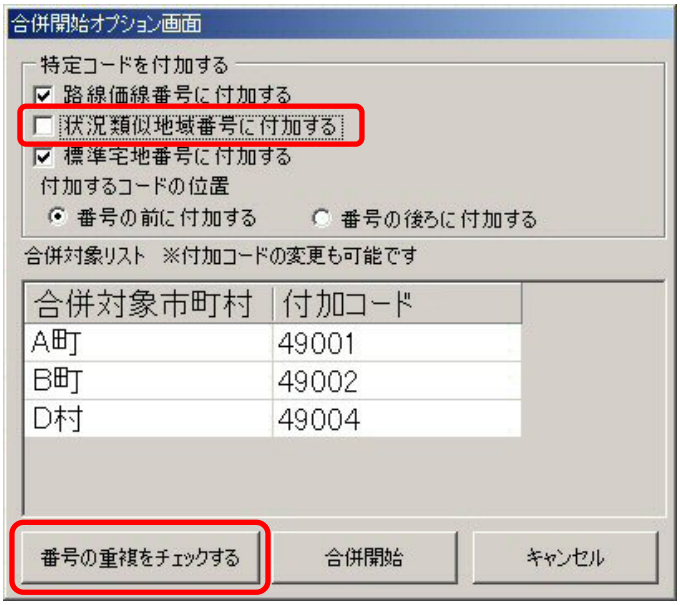
＜合併前＞



＜合併後(前に特定コードがついている)＞

1－3．属性番号の重複チェック

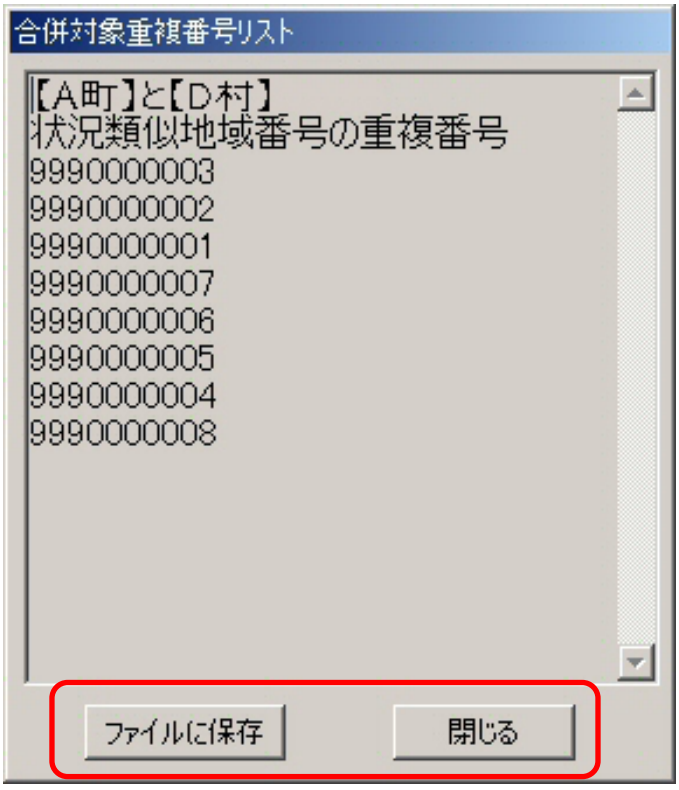
「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」には、結合処理をする前に、それぞれのデータ結合対象市町村にある路線価線などの属性番号が重複しているかどうかをチェックする機能があります。「合併開始オプション画面」の「旧市町村コードを付加する」欄のチェック項目と、対象市町村の「特定コード」の組み合わせで、重複チェックが行われます。ここでもまた「A 町・B 町・D 村」を例にして、重複番号があるかをチェックしてみましょう。



1. 「合併開始オプション画面」を開き、「旧市町村コードを付加する」欄の「状況類似地域番号」チェックボックスからチェックをはずします。

2. [番号の重複をチェックする]ボタンをクリックすると、対象市町村の「路線価線番号」と「標準宅地番号」だけが「特定コード」を付加した（重複のない）状態で番号の重複がチェックされます。つまり、「状況類似地域番号」の重複をチェックすることになります。

※ 「特定コード」は数字のみ変更が可能です。任意のコードに変更することができます。



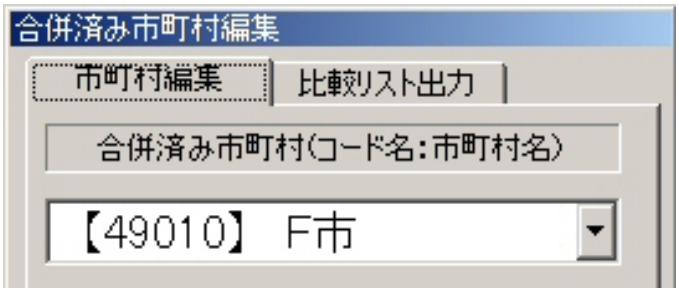
3. 重複番号が見つかった場合、「合併対象重複番号リスト」に表示されます。
重複した番号がなければ「重複した番号はありませんでした」というウィンドウが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして「合併開始オプション画面」に戻ります。

同様に、複数のチェックボックスからチェックをはずした場合も、重複番号が見つかれば、全てリストに表示されます。

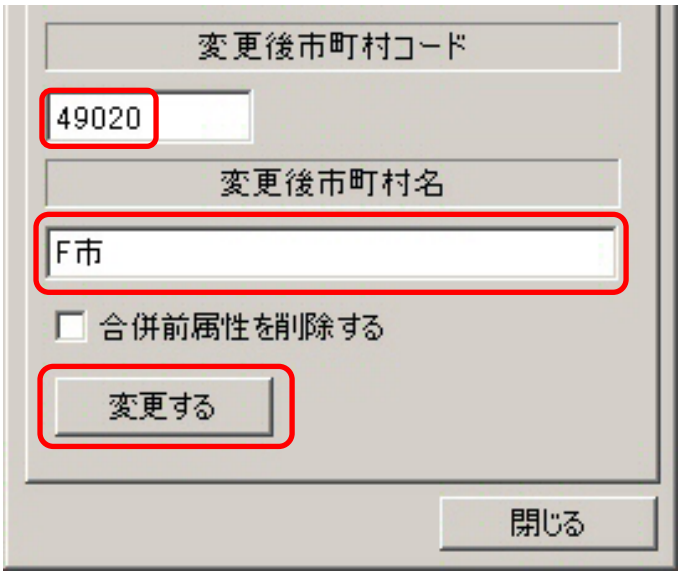
4. [閉じる]ボタンでウィンドウを閉じます。
また、[ファイルに保存]ボタンをクリックして、重複番号リストを保存することもできます。

2. 合併市町村コードと名前の変更

1. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウで、合併された市町村が表示されていることを確認して、[合併済み市町村の編集]ボタンをクリックします。

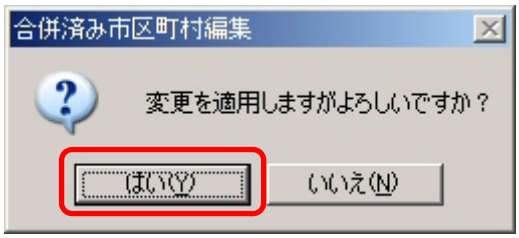


2. 「合併済み市町村編集」ウィンドウが開き、「市町村編集」タブに合併後の市町村名とコードが表示されます。合併した市町村が複数あって表示されていない場合は、変更したい市町村をドロップダウンリストから選択して表示させます。



3. 市町村コードを変更したい場合は「変更後市町村コード」下の入力ボックスに変更するコードを入力します。また、市町村名を変更したい場合は、「変更後市町村名」下の入力ボックスに変更する市町村名を入力してください。

4. 入力が完了しましたら、[変更する]ボタンをクリックします。



5. 確認ウィンドウが表示されますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

6. 変更終了のメッセージが出たら[OK]ボタンをクリックして、[閉じる]ボタンをクリックします。

7. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウで、変更内容が反映されたことを確認することができます（次ページ参照）。

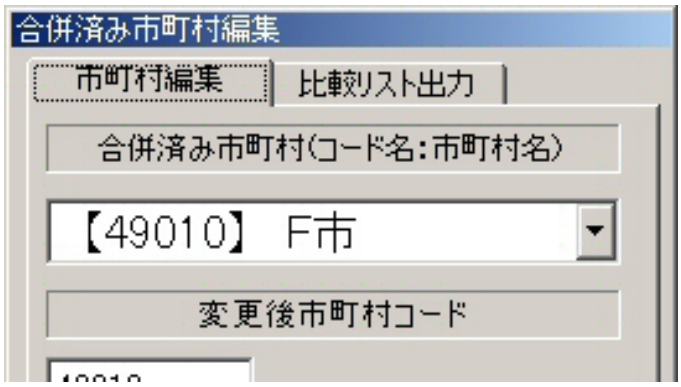
＜「市町村コード」変更の結果画面＞

※　「変更後市町村コード」「変更後市町村名」共に変更せず[変更する]ボタンをクリックした場合、「変更箇所がありません」というメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして「合併済み市町村編集」ウィンドウに戻ってください。

3. 新･旧属性データの比較と旧属性データの削除

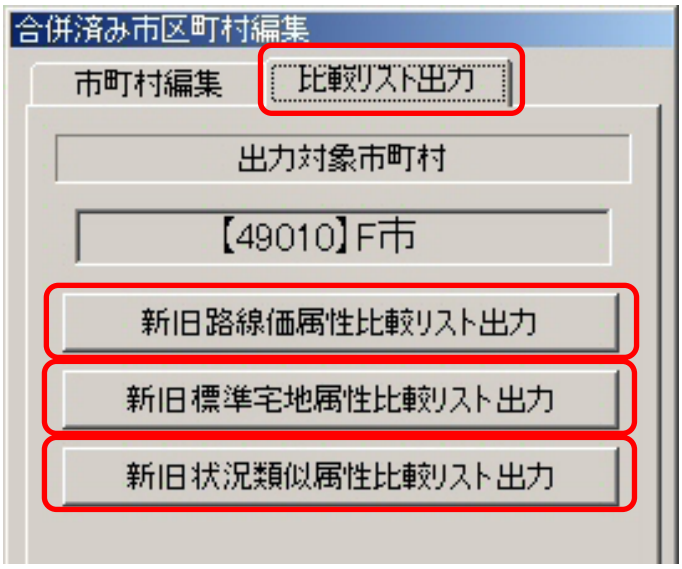
データの結合処理を行った後に路線価線などの属性の変更や修正を行った場合、結合後の新しい属性数値と結合前の旧属性数値のリストをデータ出力し、比較することができます。

3－1. 比較リストのデータ出力

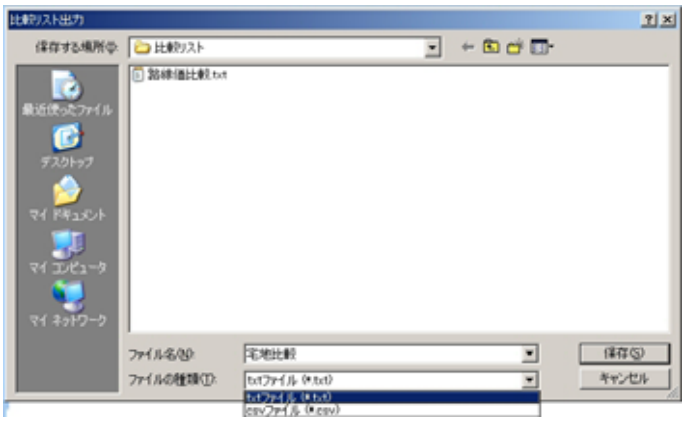


1. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウの[合併済み市町村の編集]ボタンをクリックして「合併済み市町村編集」ウィンドウを開きます。

2. [市町村編集]タブで、比較リストを出力したい市町村が表示されていることを確認します。表示されていなければ、ドロップダウンリストより選択して表示させます。



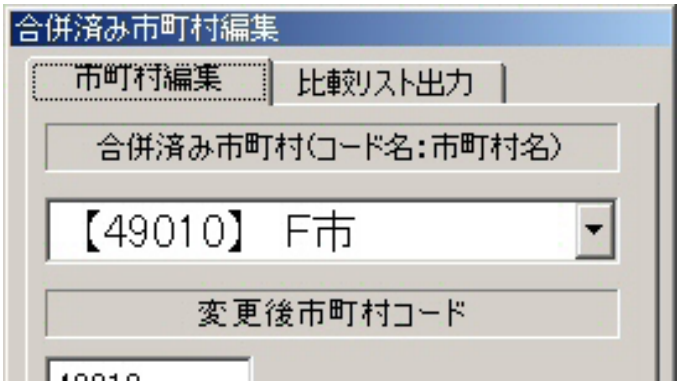
3. [比較リスト出力]タブを開き、[新旧路線価属性比較リスト出力] [新旧標準宅地属性比較リスト出力] [新旧状況類似属性比較リスト出力]のいずれかより、出力したいリストのボタンをクリックします。



4. 「比較リスト出力」ウィンドウが開きます。リストを保存する場所を指定して、ファイルに名前をつけて保存します。このとき、選択できるファイルの種類は、「txt ファイル(*.txt)」もしくは「csv ファイル(*.csv)」です。

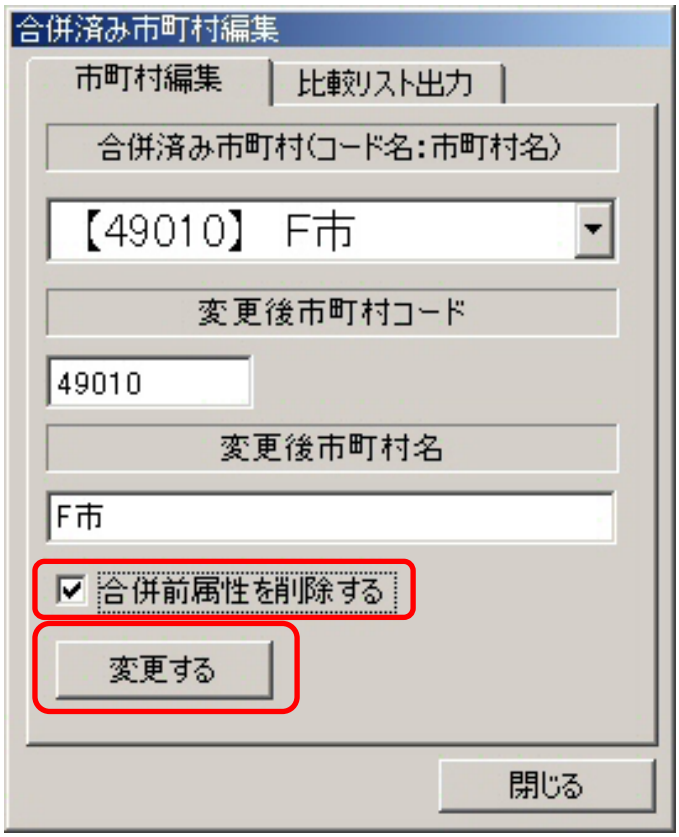
3－2. 旧属性データの削除

固定資産税路線価等データの旧属性データが必要でない場合は、データを削除することができます。ただし、一度削除された旧属性データは復元できませんのでご注意ください。



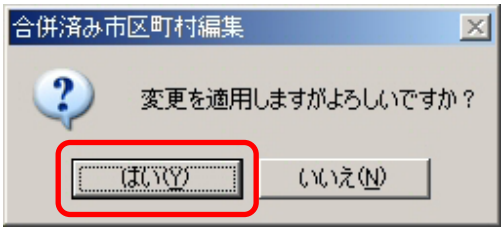
1. 「合併市町村のための路線価等データ結合プログラム」ウィンドウの[合併済み市町村の編集]ボタンをクリックして「合併済み市町村編集」ウィンドウを開きます。

2. [市町村編集]タブで、旧属性データを削除したい市町村が表示されていることを確認します。表示されていなければ、ドロップダウンリストより選択して表示させます。



3. [合併前属性を削除する]チェックボックスにチェックをつけ、[変更する]ボタンをクリックします。

4. 変更適用の確認ウィンドウが表示されますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。



5. 変更終了のメッセージが出たら[OK]ボタンをクリックして、データ削除完了です。

4.「路線価等業務管理システム (Ver.4.00)」での旧属性表示

データの結合処理を行った後に「路線価等業務管理システム（Ver.4.00)」で作業する際、固定資産税路線価等データの旧属性を表示させることができます。ここでは「路線価線」の旧属性を表示させる場合について説明します。

1. 「路線価等業務管理システム（Ver.4.00)」アイコンをダブルクリックしてプログラムを起動させます。

2. [属性(A)]メニューの[路線価線属性表示(A)]を選択して、属性を表示させたい路線上でクリックすると、「路線価線属性」ウィンドウが開きます。

3. 「合併前の属性表示」チェックボックスにチェックをつけると、ウィンドウの右側に「合併前属性」が追加表示されて路線価線の旧属性を確認することができます。
チェックをはずすと追加表示は消えます。

※ 「データ結合プログラム」で合併前の属性データを削除すると、旧属性は復元されないため、「路線価等業務管理システム（Ver.4.00)」の「路線価線属性」ウィンドウでチェックボックスにチェックをつけても追加表示のウィンドウに旧属性は表示されません。